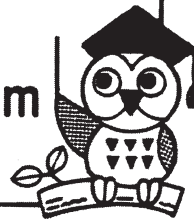


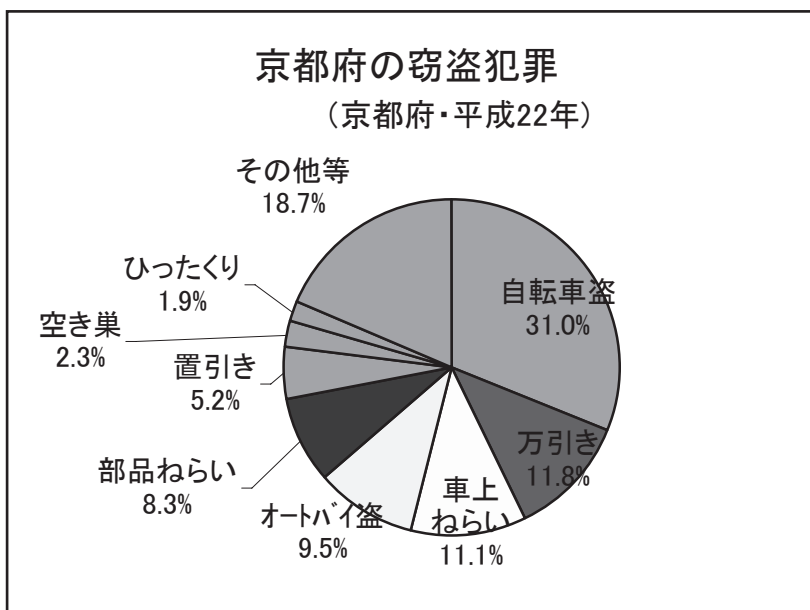
# Statistical Room



## 窃盗犯罪

京都府警の犯罪統計によると、刑法犯の種別の中では、窃盗犯罪（認知件数）が最も多い犯罪となっています。

平成22年中の刑法犯総数 42,270 件のうち、窃盗犯の認知総数は 32,354 件でした。



資料：京都府警察本部  
犯罪統計より

グラフのとおり、手口別にみると、自転車盗が 10,040 件となっており全体に占める構成比は 31.0% です。次いで多いのが、万引き 3,833 件（同 11.8%）、車上ねらい 3,605 件（同 11.1%）、オートバイ盗 3,083 件（同 9.5%）とつづきます。

前年からの増加率は、車上ねらいが 7.6% 増、部品ねらいが 52.1% 増となっています。「車上ねらい」とは自動車等の積荷や車内の金品を盗むもの、「部品ねらい」は自動車等に取り付けてある部品・付属品を盗むものをいうので、車を狙った窃盗犯罪が昨年より多発しているといえます。

もうすぐ連休も近づき、外出の機会が増えると思いますが、車でのお出かけや、長時間家を留守にするときなどは、被害にあわないよう、注意を払うことが防犯につながるようです。